

## 6. 秋田スギ品種造林地の生育調査

育林部長 平 川 昇

### I 目 的

秋田スギと地元スギの生育について比較調査し、本県における秋田スギの適応性について究明する。

### II 調査内容

①の造林技術上の問題点把握で秋田スギの活用について問題提起されたので、既存の造林地の調査により検討することにした。調査は、南会津郡田島町大字高野に昭和40年10月に植栽された、秋田スギと地元スギの生育について行った。

調査方法は、秋田スギについては斜面上・中・下部の3ヶ所について、地元スギについては対照区として斜面下部の1ヶ所を調査した。調査項目は、根元直径・胸高直径・樹高・枝下高・根元曲り幅・根元曲り高等である。

### III 結 果

調査結果は表-1のとおりである。

樹高生長は、同一地形、土壤条件のところでは、秋田スギが地元スギより1mほど上まわっていたが、胸高直径についてはほとんど同じ生長であった。

近年公社造林等で秋田スギが良く造林されているが、会津の多雪地帯においては、秋田スギは一般に良好な生育をしている場合が多い。従って、秋田スギは、会津地域における造林樹種としては適当な品種と思われる。

雪による根元曲りについては、本県の場合正確な資料が無いので、予備調査として行ったものである。今回の場合、斜面下部の緩斜地で根元曲り幅・曲り高とも一番小さく、中腹の急斜地で一番大きな値となっていたが、根元曲りは、雪量は勿論であるが、斜面位置・斜面角等が大きな要因になっているようである。

いづれにしても、南会津郡田島町周辺におけるスギ造林木の根元曲りは、一般に雪が軽いため、根元曲り幅は70cm前後、根元曲り高は1.5m以下と言うのが標準と思われた。

表-1 秋田スギ品種の生育状況

品 種	斜面位置	根元直径	胸高直径	樹 高	枝 下 高	形 状 比	根元曲り幅	根元曲り高
秋 田	下	15.2cm	10.9cm	9.6m	3.4m	88	38cm	127cm
	中	15.4	11.9	9.5	2.9	80	76	152
	上	13.1	9.5	6.9	2.1	53	68	137
地 元	中~下	15.4	10.8	8.3	2.4	77	62	132